

開催日 .. 平成28年5月7日(土)
会場 .. グランドホテル白山

発行所
白山市PTA連合会
白山市古城町2番地
TEL:076-276-8040
題字／白山市長 山田憲
印刷／能登印刷株式会社

私たちは、未来を拓くたくましい子どもの成長を願い、「親として」「大人として」ともに成長していくと同時に、家庭・学校・地域が相互に信頼関係を築き、連携・協力していくことにより、子どもが明るく、元気に活動できる教育環境の充実を目指して、この「五つの誓い」を守ります。

1. 学校の教育方針のもと、活力あふれる学校づくりに協力・支援します。
2. 積極的に学校行事やPTA活動に参加し、会員相互の理解に努めます。
3. 地域の一員としての自覚を持ち、地域の方々と協力し連携を深めます。
4. 子どもと向き合い話し合い、よく理解者となります。
5. 子どもを守り育て、しつめることに責任を持ち、よく模範となります。

平成20年11月27日制定

日時..平成28年6月4日(土)～5日(日)
場所..白峰温泉ホテル八鵬

平成28年6月4日(土) 5日(日)、白峰温泉ホテルにおいて、白山市内27小中学校のPTA・育友会・育成

激しい私は、皆さんとうまく打ち解けることができるだろうかと、当日まで不安でいっぱいでした。

5月7日(土)ランドホテル白山に於いて、平成28年度白山市PTA連合会定期総会が開催されました。総会にはご来賓の方をはじめ、市内小中学校PTA会員164名と多くの方に出席を頂きました。始めに恒例の「五の誓い」を唱和の後、今年度から就任した古本達明新会長の新たな決意の挨拶に続き、村本一則市議会議員、松井毅市教育長よりご祝辞を頂きました。議事では昨年宣言した自転車乗車ヘルメット着用宣言に関する報告と成果や、その他すべての審議事項についてご承認を頂きました。続いて行われた懇親会では、加藤法栄市校長会会長による乾杯のご発声で開宴となりました。各学校の皆さま方それぞれがこの歓談の場を通して懇親を深め合うことが出来たと思います。最後は佐賀一夫市P連運営幹事による閉会の挨拶で締め括り、大いに充実した総会及び懇親会となりました。

が主体的に関わることでできる土台です。子どもたちが笑顔で成長する姿は、何事にも代え難い最高の宝であり、保護者が享受できる大きな喜びです。市内全ての児童生徒から笑顔が絶えない、そんな家庭・学校・社会になるよう、地域社会や関連諸機関への働きかけを通して、家庭や教育環境の充実と発展を目指します。

市P連は今年度、様々な観点から「親力向上」

市P連は昨年、10周年の大きな節目を迎えました。広報紙においても名称を「白山」から「かがやき」に変更し紙面もA2サイズに大きく変更いたしました。「かがやき」の紙面としては2年目となります。今年度も広報紙は

広報委員会

委

- **家庭教育委員会**
市P連は、市内全ての児童生徒が母校に誇りを持ち、笑顔で卒業していけるよう、家庭・学校・地域が手を取り合える環境づくりをすることを目標としています。その大切な土台となっていくのが、私たち一人ひとりの保護者並びに
- **教育環境委員会**
本年度新設された教育環境委員会では、いじめ・不登校、ネット環境、交通安全等、子どもたちを取り巻く社会環境の諸問題に取り組んでいます。
- **いじめ・不登校の問題**
では誰にも相談出来ず、に孤独に対応している

PTA会長の皆さま
のPTA活動に対
いを発表しました。

聞くことができました。時間



激しい私は、皆さんとうまく打ち解けることができるだろうかと、当日まで不安でいっぱいでした。

しかし、その私が若干遅れて参加したにも関わらず、誰人として「あんた誰や？」などと言わずに温かく迎えて入れてくださった、また私の分のお昼のさるうどん定食もちゃんめと取っておいてくれており、改めて市Ｐ連の仲間意識の強さ、懐の深さに感謝しました。

私は市Ｐ常任委員を兼任していないため、この会長会議は他校の会長さんと接することのできる数少ない機会です。

「親力を上げ笑顔あふれる
環境づくりに向けて」

白山市PTA連合会会長 古本 達明

平成28年度の白山市PTA連合会(市P連)会長を拝命致しました古本達明です。単位PTAの活動を経て、市P連では5年目を迎えます。2005年に創設された市P連は6人の歴代会長がバトンを繋ぎ、昨年度に10周年の節目を迎えて記念祝賀会を挙行了しました。そして、今年度より新たな時代を歩むべく活動していきます。子どももた	ちを取り巻く環境は秒進分歩のごとく変化し続け、保護者である我々が足踏みしている時代の流れに取り残されてしまっています。子どもたちのために、保護者も時代の流れに敏感となり社会情勢を含めた知識を身にかけて親力を向上させなければなりません。子どもたちが過ごす時間の多くは学校ですが、寝食するのは家庭であり、我々保護者
--	---

<p>の活動に対して少しでも興味を持って頂き、参加したくなるような企画を立案していきます。参加頂けたなら、得るものがあつたと感じてもらえんと自負しています。それぞれの企画は、単位PTAを通じて全戸配布させて頂きます。市P連としての思いをどうかご理解頂き、皆様のご協力を賜りたく、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。</p>	<p>お待ちしております。 また、今年度はホームページの内容を二層布実させ、現会員だけではなく、今までの会員や地域の皆さんにも楽しんでいただけるようにしたいと思います。 「PTAとは何? PTAは面倒だ! でも実際は面白くて楽しい!」と多く自分自身が成長できたかも!」を発信したいと思います。</p>
<p>委員長 柚木 重彦</p>	

<p>今年度の事業の柱とすると共に、更に毎年二回の開催の定着を今後の目標とし、先般第一回が終了しました。悩みを抱える者同士が問題を共有し、意見を交換することの出来る場が市P連にあることが皆さんのサポートとなり、一本の矢が二本にも三本にもしてけるような力強い活動としていくように努めていきます。</p> <p>委員長 加藤 彰彰</p>	<p>多くの情報を集めます。また、様々な社会環境に対し課題や情報を市P連にお寄せください。</p> <p>皆様から頂いた課題や情報を基に、同じ悩みを抱え、同じ子どもたちを思う立場の者同士話し合い連携を取りながら、市P連の枠組みを最大限に生かしてより有益な情報を共有できる様、情報を発信していきます。</p> <p>委員長 木村 俊次</p>
---	--



加者全員のそれぞれの意見を

の中学校 地域の小中学校の
PTA会長と情報交換がで
き、前向きな気持ちになるこ
とができた会長会議でした。

準備をされた、会長はじめ役
員の皆様、ありがとうござい
ました。

北辰中学校 PTA 会長
作本 秀樹

今年、私にとってこの会長
会議が市 P 連関係行事への初
参加でした。

元来ことのほか人見知りが

終わってしまいました。
 今後はもう少し努力します
 ので、何とぞよろしくお願い
 いたします。

子は親の鏡！

白山市教育委員会教育長 松井 毅

保護者の皆様には、日頃より、本市の学校教育に対してご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、皆様は、「子は親の鏡」という言葉をご存知でしょうか。子

どもの考え方やその行動は、親が何を大切にしているか、親の生活が、親の言動がそのままだにも影響を与え、その結果鏡のように子どもに映りだされる、というこ

とから生まれたよきで、アメリカの教育学者ドロシー・ロー・ノルト氏の詩のタイトルです。

ある家庭の話ですが、上の子が下の子をしかる時の口調が親とそっくりで、とても驚いたよ

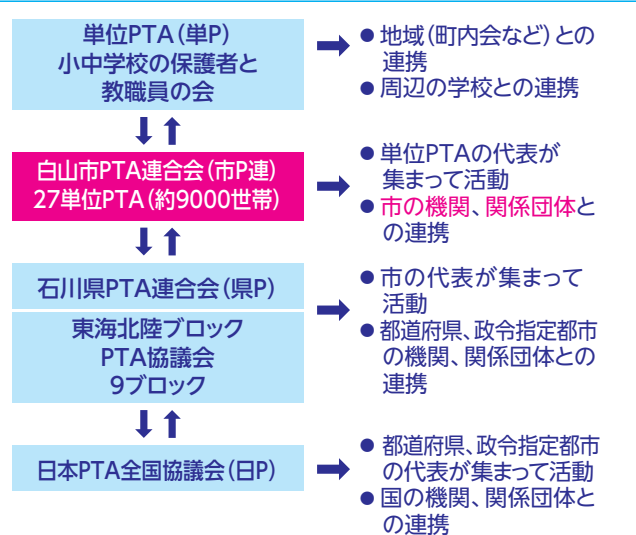
うです。親がイライラしている時期は、そっくりそのままだにもイライラして聞きま

した。その後意識して上の子を褒めて優しく接するようにしたら不思議なことに子ども

の一員です。子どもは、
 本当に日々親から学ん
 でいます。そして、大
 人になったとき、それ
 を人生の糧として生き
 てゆけるのです。だから、
 日頃の家庭の過ごし方
 がとても大切になって
 くる。子どもは、
 の信頼感や思いやりの
 心を育む場所です。
 また、家庭は心の安
 らぎやぬくもりを感じ
 る場所であり、家族を
 中心とした交わりの中
 で、コミュニケーションの
 基礎を学び、子どもは

子ども的人格形成にとって、子どもと向き合う大人が、毎日、生き生きと表情豊かに生活することが大切であり、大人同士も十分にコミュニケーションを図ることが重要です。

白山市PTA連合会とは



「PTA」は何の略かご存じですか？

Parent(ペアレント)	保護者
Teacher(ティーチャー)	教師
Association(アソシエーション)	協会

という意味で、その頭文字をとってPTAと呼んでいます。この名称の示すとおり、PTAは、親と教師で構成され、両者が対等の立場で学習し、自己を高めていく団体です。また、PTAは、すべての児童生徒のための活動というのが本来のあり方です。我が子だけでなく、我が子を取りまく地域、学校、保護者と協力して活動する団体です。

単P(タンピー)って?

PTAはそれぞれの学校単位に作られています。「単位PTA」略して「単P」と呼ばれ、各小学校・中学校の保護者と教職員で構成されます。

市P連(シピーレン) って?

市P連とは市内単位PTAを会員としたPTA組織のことで、白山市PTA連合会は、白山市内27単位PTAの会員約9,000名からなる組織です。市P連は情報交流や学びの場であり、研修会・講演会の開催や、白山市、白山市校長会・教頭会その他関係諸団体に連携し、PTA活動の充実強化と白山市の教育振興に寄与することを目的に活動しています。

また、単位PTAで解決できないような問題であれば、組織力を生かし、市PTAを活用することで情報の発信・集約や意見・陳情することもできます。

事務局

住 所 〒924-0872 石川県白山市古城町2番地
白山市松任文化会館
電 話 076(276)8040
F A X 076(276)5612
e-mail info@hakusan-pta.com
U R L <http://hakusan-pta.com>

HPで情報発信中!!



平成28年度 白山市PTA連合会組織



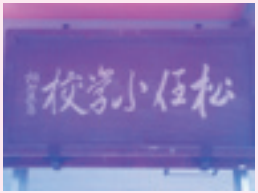
平成28年度 市P連役員・常任委員の皆さん

[illegible]

1 松任小学校

松小の始まりは寺子屋から

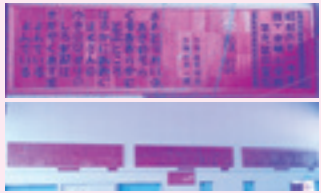
我が松任小学校の自慢は、歴史の長さです。創立は明治5年で、今年はなんと第145回目の入学式でした。また、松任では天保13年に「汲古堂(きゅうどう)」という名の寺子屋が設立されており、幕末には児童数が240名もいました。寺子屋の先生は松小創立とともに、教員になったので、「松小の始まりは寺子屋から」ともいえます。



2 東明小学校

校歌のレリフ

体育館には卒業制作の木彫レリフが30年近く掲げられている。正面左右には「校歌」があり校歌斉唱を見守り続けている。後方上部には「田植え」「稲刈り」「収穫」があり、昭和61年度から順に制作された。その年代がちょうど保護者として戻ってきている。その思い如何であろうか。学校の宝物と考える所以である。



3 北陽小学校

笑顔で創る挨拶の『わ』!!

このタイトルは、私たち北陽小学校育友会のスローガンです。子どもたちをはじめ、先生方、保護者の方々を含めて、みんなの「笑顔」にこだわっています。笑顔こそ私たち学校の宝なのです。毎年秋に実施する北陽祭のスローガンも「Let's Enjoy! Smile HOKUYO」(楽しもう! 笑顔の北陽)です。みんなを笑顔にできる学校、それが北陽小学校なのです。



4 旭丘小学校

地域との交流

私達の旭丘小学校は、地域の方々に協力頂き、親子ふれあい田植え、親子ふれあい稲刈り、そしてそのお米を使つての餅つきフェスティバルを行っています。沢山行われた親子ふれあい田植えでは、沢山の子どもの笑顔があふれ、又、地域、先生方、保護者の交流が一層深まりました。この交流こそが私達の学校の宝です。



5 蕪城小学校

蕪城小学校の宝物

わが校には仕切りのないオープン図書コーナー「メディアホール」があります。毎日、図書館司書の方がお話ししてくれます。雑誌ばかりですと利用する児童は靴を脱いで入り静かに本を読んだり読みたい本を選んだりしています。学校の中心にありオープンにしたことにより利用しやすいが抜群です。何より本が好きになるきっかけとしても最高の「宝スペース」です。



6 千代野小学校

子どもたちの輝く笑顔

千代野小学校の宝物は、「子どもたちの輝く笑顔」です。「かしこく やさしく たくましく 礼儀正しい」千代野っ子です。授業中は、目を輝かせて勉強しています。たてわり活動を通して、いろいろな学年の子とお友だちになり、たくさん遊びます。学校では、子どもたちのさわやかなあいさつが飛び交います。何事にもがんばる姿がとても素敵です。



7 松陽小学校

“学校みんな”が宝物

松陽小学校の子どもたちみんなに、「学校の宝物って何だと思う?」と質問してみました。PTAの活動方針にも取り入れたという読書への取り組みが浸透しているようで、「図書室」という答えも多かったのですが、一番多かったのが「友達」と「先生」という答えでした。実は内心一番期待していた答えだったのでも嬉しい結果となりました。



8 石川小学校

わたしたちの学校の宝物

私達、石川小学校のお宝と言えばこの2つです。まずは、石川小学校の鐘です。これは昭和10年に建築された木造校舎の頃にあったもので、数十年ぶりに発見された思い出の鐘です。今となってはどういう使われ方をしていたのかは定かではありませんが、伝統ある当校の古き良き「宝物」であります。もう一つは、今となっては珍しい? 二宮金次郎像です。正面玄関の横で児童達を見守ってくれています。



10 湊小学校

湊小学校の宝物

湊小学校は明治6年3月に開設された歴史ある小学校です。明治11年1月より現在地に移り、昭和45年に現在の形になっています。平成28年3月に耐震大規模改修工事が完了し、原形が残る新しい校舎になりました。親子三代で同じ校舎を見て小学校時代を懐かしめるのは湊小学校の宝物です。



11 美川小学校

長年に渡り継承される鼓笛隊

ジャン、ジャン、ジャンジャ、ジャカジャカジャン。これは、美川小学校で古くから継承される鼓笛隊のドラムマーチという曲の最初のフレーズです。約半世紀前から今も同じ曲が5、6年生で引き継がれ演奏されています。小学校の運動会、また、美川地区の運動会でも演奏し、世代を越えて地域の方々にとても愛されている宝の曲です。



12 蝶屋小学校

宝物だと気づく事、それが大切

蝶屋小の宝は、潮の香る中、桜の木・田んぼ・線路・雪峰白山・・・この学窓から望む景色の中、勉強する蝶屋っ子たち。そして、子どもたちが元気で、この風景がある蝶屋校区を大好きになるようサポートしてくれる人達の心、それが蝶屋小の宝です。故郷を愛し自慢出来る事。それは昔以上に大変な時代を進んで行く子どもたちにとって最高の宝であり、心の支えになるのではないのでしょうか。



16 鳥越小学校

白山に見守られての楽しい給食

素直で元気な子どもたち、いつも温かく見守って下さる地域、全員参加で奉仕作業や資源回収で汗をかくてくださる保護者の皆さん。そしてもうひとつ、全校児童が一堂に会して給食を食べるランチルームは、大きな窓から、われらが白山が美しく気高くやさしく見守ってくれています。この素敵な環境こそが鳥越小学校の宝物です。



17 白峰小学校

屋根付きプール

本校は白山の麓にありますが、昔から水泳に力をいれています。春になると、プールサイドに特注のテントを張り屋内プールへと変わります。只、標高が高い為、プールの水温は非常に冷たいのですが、児童も唇を青くしながら頑張っています。冬季は豪雪地帯の為、テントは撤去します。この環境づくりが児童にとって宝物だと感じます。



18 河内小学校

冬の体育はセイモアスキー場で!

3学期の体育は、毎週金曜日、午後からセイモアスキー場に集合です。全校生徒が参加するスキー教室。子どもたちは飲み込みが早く、あっという間に上達します。スキーの指導は地元元のベテランスキーヤー達。地域の子どものためのボランティア先生です。子どもたちが小さな体いかに、自然の雄大さを感じる素敵な時間です。



19 白嶺小中学校

つながり

白嶺小中学校は、学校統合9年目を迎える今日までの間、白峰・尾口・吉野谷地域、それぞれに深く根差した地域文化の異なりを偏ることなく尊重してくれたおかげで、学校が地域に溶け込みつつあり、異なる地域をつなぐことができました。白山・手取峡谷の自然の恵みがそうであるように、今では学校の存在自体がわたしたちの宝物です。



27 鳥越中学校

あいさつあふれる学校

鳥越中学校は、生徒会を中心にして、毎朝あいさつ運動を行っています。このあいさつ運動を通して、生徒全員が明るく元気にあいさつしています。学校外でも、積極的にあいさつしている姿を見て、「あいさつが自然にできている」とうれしくなります。このあいさつが鳥越中学校の自慢(宝)です。



14 明光小学校

きれいな学び舎

新校舎ということで「きれい」なのは当たり前と思う人もいます。でもそれだけでは「きれい」を続ける事はできません。子どもたちの「ものを大事にする」という心も必要だと思います。何より日々「きれいに掃除をする」という事が継続され、来校される方々に「きれい」な明光小学校を見ていただけていると思います。



15 広陽小学校

権兵衛さんのおくり物

広陽小学校には、校歌の他に児童の誰かが歌える「七ヶ用水堰生物語〜権兵衛さんのおくり物〜」という歌があります。「七ヶ用水の父」と言われる校権兵衛さんの偉業を称える歌で、全校集会では欠かさず歌われています。この歌を歌い継いでいくことで地域の偉人を知り、郷土愛を育てるものと思っています。



25 鶴来中学校

植える花夢(Welcome)

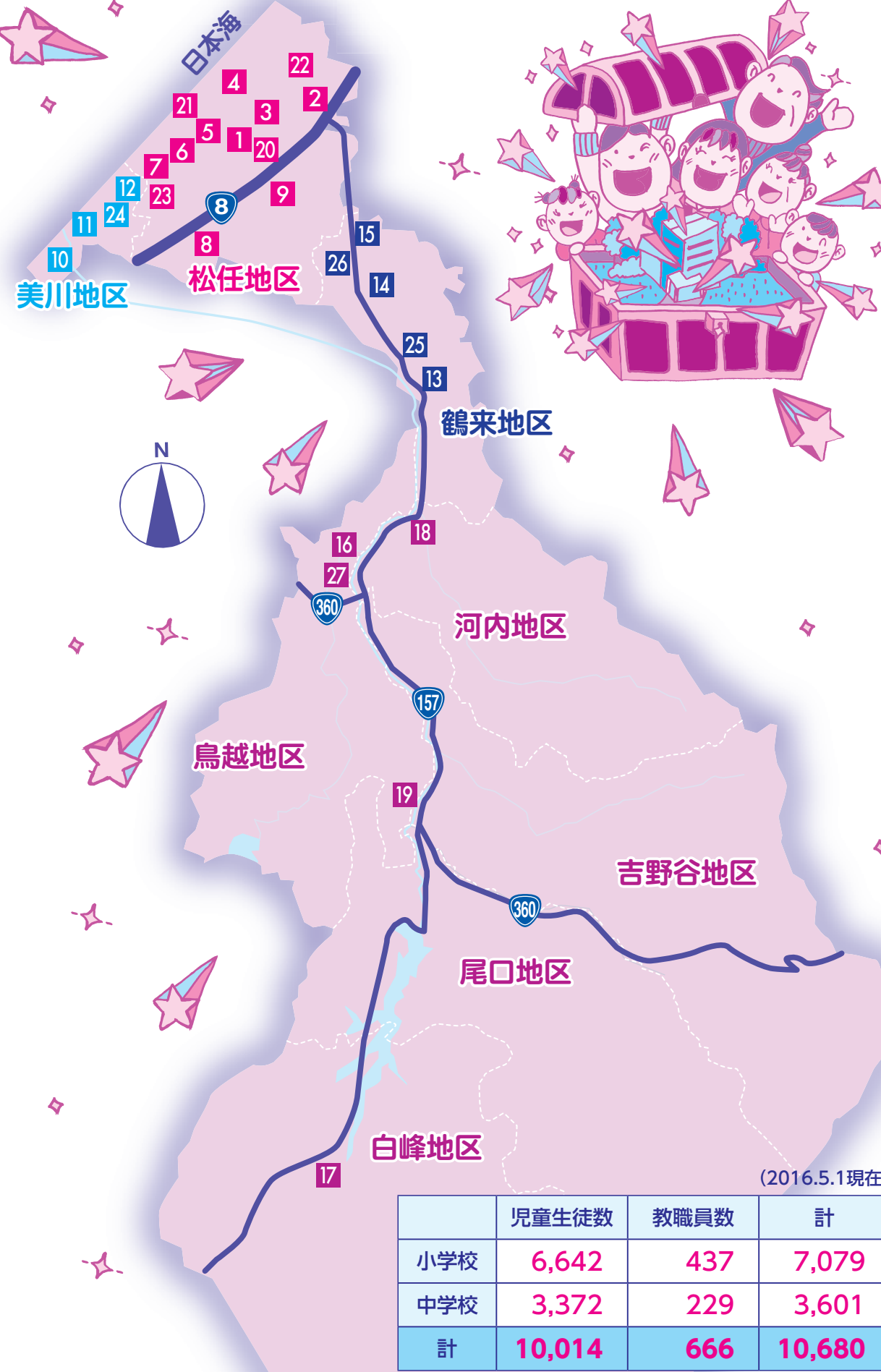
私達の学校では、学校、生徒、保護者、地域ボランティアの方々が一緒に花壇作りに取り組んでいます。そこで育てられた大切な花々を、生徒会がFPF(フワフワプロジェクト)として高齢者へ思いやりと感謝を持って届けます。色とりどりの花に囲まれながら、楽しく学べるように取り組んでいます。



26 北辰中学校

目指せ“あいさつ”と“花壇”で日本一!!

昨年度、花いっぱいコンクール中学校の部で最優秀賞をいただき、石川県一になることができました。準備大変ですが、毎年教職員、PTA、生徒一丸となって近所の方に見てくれるくらい花壇を作っていました。今年度は、花壇に加え、あいさつ日本一を目標としています。PTAの活動目標にも、あいさつの質の向上を入れ、相手の目を見たい、あいさつを行い、北辰中学校の宝として、あいさつと花壇を育てていきたいです。



これぞっ! わが校のたから

今回は「これぞっ!わが校のたから」と題して、各校の「たから」を紹介します。それぞれの学校の「たから」と呼ぶにふさわしいものが必ずあるはず。それは、自慢できるものであったり、その学校にしかないものであったり。また、ものに限らず、場所であったり人であったり。

そういった「たから」を改めて再発見してほしいという意図も込めて、各校のPTA会長に原稿をお寄せいただきました。お子さんが通われている学校の「たから」を知ること、学校をより身近に、また親しみを感じていただけたら幸いです。

ボランティアの心
卒業生や在校生は、「きれいな校舎」「さわやかなあいさつ」「行事が盛り上がる」事を自慢します。これらのことに加え、海岸清掃や通学路のクリーン活動などボランティア活動に取り組んでいます。「ボランティア」を大切に、「自分は、何か他にできることはないか」と心がけて活動しています。



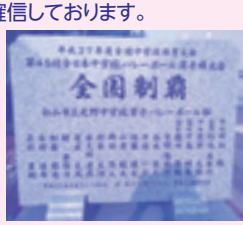
諸先輩方の思いを伝える板
笠間中学校が創立した時の正式名称は、石川村外二ヶ村組合立笠間中学校とい、三つの村で組合を作って運営されていた。昭和29年に松任町に合併されたので、松任町立笠間中学校という名前になりました。子どもたちのために学校を作ろうという思いが、ここに込められている様子が伝わります。時を超えた大事な宝です。



学校のあちこちで読書!
学校の階段踊り場で書籍紹介をしています。1〜2週に1度、展示本を更新。本を目にした手にとってほしいと、生徒が読書に親しみむきっかけになっています。学校図書館で本の展示はもちろんですが、生徒とPTAによるプロパゴバの取り組みや、朝読書の活動などを通して全校で読書しやすい環境ができています。



われら光野中(^^)みんなの宝!!
まずは、地域の皆様あたたかいご厚情のもと、本年、創立35周年を迎えることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。さて、わたしの学校の宝物ですが、昨年、男子バレーボール部が全国優勝を果たすことができました。これは、先生方にはじめ生徒一人ひとりの希望がひとつになった証であると確信しております。



今でもこれからも
教室やグラウンドから見える獅子吼の山々…。晴れた日には獅子吼の山を背にバングライダー達が飛び交い、また、小学校の展望台からは雄大な手取川の流れと、その先には遠く日本海までもが一望できます。この当たり前にある豊かな自然こそが朝日小学校の宝であり、子どもたちの成長を見守る、かけがえのない宝物です。今でもこれからも、私たちは未来ある子どもたちのためにこの宝を大切に、次世代へと繋いでいきたいと思っています。



めざせ 内閣総理大臣賞! 「税」に関する作品募集!

中学生を対象に「税」をテーマに作品(作文、書道、ポスター)を大募集します。作文は優秀作品には、内閣総理大臣賞、総務、財務、文部科学の各大臣賞等、書道、ポスターについては、石川県知事賞、白山市長賞その他各賞が贈られます。日本一目指して頭をひねり、腕をふるってみよう。

提出締め切り:平成28年9月5日(月)
問い合わせ先:(公)松任法人会 事務局 274-3157

子どもを交通事故から守りましょう!!!
～自転車乗車時にはヘルメットの着用を～
自転車ヘルメット購入費用を助成します!!

対象者 市内に住所を有する幼児・児童の保護者
※幼児:市内に住所を有する6歳未満の者
※児童:市内に住所を有する6歳以上13歳未満の者(中学生を除く)

助成額 1,000円(販売価格が1,000円に満たない時はその価格)
※必ず市内の事業協力店で購入してください。
※一人3年に一回が限度です。
※「自転車ヘルメット購入助成券」が必要です。

お問い合わせ先
市民生活部地域安全課まで
☎274-9537(直通)

編集後記

市P連広報紙「かがやき」第22号をお届けします。昨年度は10周年の節目を迎え、「10年の軌跡」と題し市P連創立以来の歴史を振り返ってみました。皆様楽しんでいただけたでしょうか?今年度から新たな時代を歩んでいくことになります。今号では、「これぞっ!わが校のたから」と題して、他の学校に紹介したい、自慢したい宝物を掲載させていただきました。自分の子供が通う学校だけではなく、他校の宝物も見たい、交流してみたいと思っていただければ幸いです。

市P連の活動やお知らせ、市内小中学校27校のPTA活動を広報紙やホームページを通して情報発信していきます。今年度からは特に、読んで楽しい、勉強になった、次号が楽しみだと思っただけのような内容にしたいと考えています。これからも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(広報委員長 柚木 重彦)